

## 日本公民館学会第4回研究大会プログラム

主催：日本公民館学会

共催：松本大学

後援：松本市教育委員会／長野県公民館運営協議会

会場：松本大学〔住所：長野県松本市新村 2095-1 1k 0263-48-7200〕

開催日：2005年12月3日（土）～4日（日）

参加費等：

(1) 参加費 2,000 円（※学生は 1000 円）（但し、第 2 日目のみ参加の場合は無料）

(2) 懇親会費 3,000 円

会場へのアクセス：

JR 中央本線「松本駅」乗換、松本電鉄上高地線「北新一松本大学前駅」下車徒歩 2 分

長野道松本 I.C. より家で 5 分

※会場には駐車場がございます。

第 1 日 12 月 3 日（土）

### 課題研究 1 「公民館をめぐる現代的課題」(13:30～16:00)

市町村合併、指定管理者制度などの新しい動向と鶴ヶ島市における「教育大綱」作成の意義を明らかにし、公民館をめぐる現代的課題について議論を深める。

報告①「自治体教育改革と公民館」上田幸夫（日本体育大学：『年報』担当理事）

報告② 「鶴ヶ島市における「教育大綱」の作成の経過とその意義」松崎頼行（鶴ヶ島市教育委員会前教育長）

コメンテーター：小池源吾（広島大学）、内田純一（高知大学）

司記：片野親義（『年報』担当理事）

記録：伊藤長和（川崎市高津市民館）

### ポスターセッション (16:00～17:00)

○地域づくりと公民館～東京都大久野村（現 日の出町）公民館を事例として～  
井上恵子

○都市型公民館の変遷と施設空間の変容～北九州市を事例として～  
内山良子（日本大学大学院生産工学研究科建築工学専攻）

○大滝村における住民主体の公民館

大下大輔（大滝村公民館主事）

○公蓮の未来を託す職員研修の実践

近藤均

○データでみる公民館使用料～『公民館使用料に関する調査』（05年6月実施）報告～

近藤恵美子（中央大学大学院）

○大ホール未使用時における施設空間利活用の方法

金子徹（日本大学大学院生産工学研究科建築工学専攻）

○浦安市堀江公民館における人権学習のとりくみ～「こどもの人権」講座を中心に～

高梨晶子（千葉県浦安市堀江公民館）

○岡山の公民館充実運動と到着点、これからの深意

田中純子（岡山市立大元公民館）

○福岡市社会教育における市民センターの役割

永田香織（香聞女子短期大学非常勤講師）

○中核市の公民館建築における平面型についての現状報告

根岸昌弘（日本大学大学院生産工学研究科）○新しい職員像を模索する松本市公民館主事研修会

廣田圭男（松本市中央公民館主任）

○公民館と若者のかかわり～気密中央公民館の事例から～

布施利之（気密中央公民館）

○子ども教室「あるある探検隊」の取り組み

松本則夫（中野市北部公民館社会教育主事）

**日本公民館学会第3回総会（17:00～18:20）**

**懇親会（18:30～20:30）**

第2日 12月4日（日）

**課題研究2（9:30～11:30）**

**第1分科会 「地域の福祉づくりと公民館」**

公民館は「地域づくりの総合機関」という性格と「学習・文化を支援する機関」という性格をあわせもってきた。この2つの性格を融合してすすめられる地域の福祉Jづくりに

ついて、長野県の実践事例を通して考える。

報告 中村文昭(長野県上田市西部公民館主任)

村田正幸(長野県松本市安原公民館館長補佐)

勝家隆(長野県松本市福祉計画課主査)

コーディネーター 辻浩(日本社会事業大学)

## 第2分科会「分館・自治公民館の未来」

今日、地域住民による協同と自治の関係づくりは、その重要性を増すと同時に、新たに展開を求められる。共感と交流、連携と創造の活動を豊かに広げている自治公民館・NPO等の取り組みに、「新たな公共性」形成のヒントを探る。

報告 畔上尚志(長野県中野市柳沢分館長)

宮田禎二(長野県松本市原町会長)

鳥居としこ(NPO法人「りらの会」代表)

コーディネーター 築山崇(京都府立大学)

## 特別報告(11:30~12:30) テーマ 「学校改革と地域・公民館」

学校と公民館との複合問題について、実践事例における計画プロセスから学んだ事柄について報告する。

報告 長澤悟(東洋大学工学部)

## ビデオ上映&コーヒープレイク(13:30~14:30)

### ①中野市「昭和30年当時の公民館活動(16mm)」

中野市公民館で最近発見された超貴重映像。水谷正さんが活動していた当時の公民館活動や健康づくり・農作業などを収録。(録音テープは発見されておられません。)

### ②須坂市「プロジェクトS」

須坂市公民館が地域課題まちづくり講座の一環として取り組んだ、市民による須坂を舞台にしたドラマです。素人集団が1時間のドラマを4年掛かりで作りました。

(制作:須坂市中央公民館)

### ③松本市「松本にうまれた町会福祉」

公民館で学習したことを町会の福祉づくりとして活かした、蟻が崎西町会を中心にしたビデオです。(制作:松本市福祉計画課)

## 公開シンポジウム(14:40~17:20)

## テーマ 「地域・公民館・大学が協同した総合的な地域づくり」

地域・公民館・大学が連携して地域づくりを進める取り組みが増えてきた。しかし、三者が協同しながら住民自治が輝く地域づくりにまで発展していく事例は少ないのではないだろうか。松本市新村地区では、民話「ものぐさ太郎」を地域の宝としながら三者の協同がうまく進んだ先進的な事例である。なぜ協同が進んだのかを掘り起こしてみたい。

### パネラー

新村元子(松本市新村地区婦人会長)

浅川安治(松本市新村公民館長)

山田正(松本市政策課係長・前松本市新村公民館主事)

住吉廣行(松本大学副学長)

### コーディネーター

白戸洋(松本大学助教授)